



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

アクセラレーションプログラム未来X2023」 説明会資料

三井住友海上火災保険株式会社

2022年7月29日

会社概要紹介

取締役社長	船曳 真一郎
社名	三井住友海上火災保険株式会社
英文名称	Mitsui Sumitomo Insurance Company, Limited
本店所在地	東京都千代田区神田駿河台3-9
設立	1918年（大正7年）10月21日
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.損害保険業（保険引受、資産の運用） 2.他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務の代行 3.債務の保証 4.確定拠出年金の運営管理業務 5.自動車損害賠償保障事業委託業務
資本金	1,395億9,552万円
正味収入保険料	1兆5,479億円
従業員数	14,371名

(2021年4月1日現在)



国内ネットワーク

営業ネットワーク

営業課支社 **475**代理店数 **36,478店**

損害サポートネットワーク

保険金お支払センター **207**損害サポート専門スタッフ **約9,130名**

海外ネットワーク：42カ国・地域

欧州・中東・アフリカ地域



米州地域



アジア・オセアニア地域



(代理店数は2020年3月31日現在、その他は2020年4月1日現在)

ビジネスイノベーション部の役割

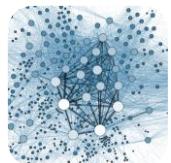
先進技術や新たな産業領域の調査・研究、
企業・自治体等とのアライアンス、
デジタル技術やデータ等の活用により、
社会・企業・地域の課題解決に資するビジネスを創造し、
当社における新たな収益基盤を確立する。



調査・研究
R&D



アライアンス
Alliances



デジタル技術
Digital Tech



データ
Data



課題解決
Solution

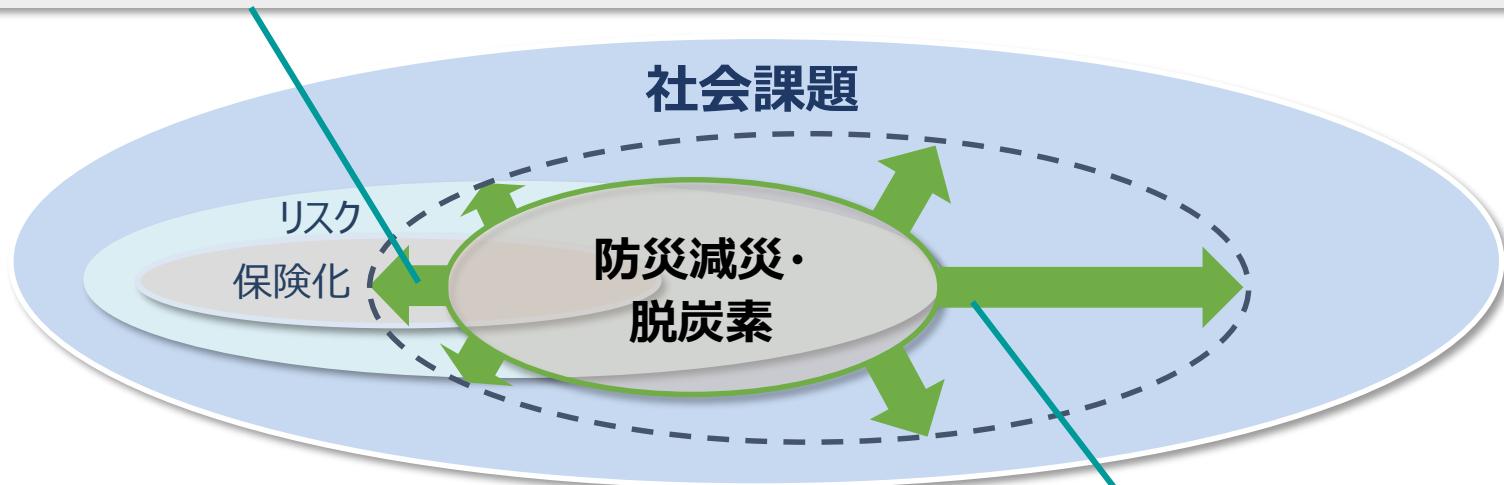


保険事業から社会課題解決への事業拡大

人類の未来のために、今を生きる人類のために「社会の課題解決をリードするイノベーションを実現する」

＜防災減災・脱炭素の例＞

① テクノロジーを活用したリスクマネジメント、保険引受での貢献
(既存の保険ビジネスに近い領域)



② 国内外企業とのアライアンスによるイノベーションで社会課題を解決
(これまでの保険ビジネスを飛び越えた領域)

ビジネス領域と取組項目

既存ビジネス領域

保険化・
サービス化
DX value

金融

AI与信モデル
クラウドローン
デジタル保険募集

事故データ活用

MaaS
次世代型AI運転診断サービス
ADAS分析
カープール
事故発生リスクAI予測

エネルギー関連

発電
洋上風力
インバランスリスク
水素

脱炭素

データ活用

Safety Solutions

防災ダッシュボード
工場故障検知

農業

農業営繕費用保険組成
畜産獣医診療サポート
スマート農機

自動運転

遠隔型自動運転
ドローン
サイバーセキュリティ

データ分析・構築

RisTech
データ活用
データ活用ロスプリ

インフラ

ドラレコロードマネージャー
配管老朽化ソリューション

ヘルスケア

見守りサービス
健康支援アプリ
フェムテック

注力領域

RisTech関連の新規ビジネス等を拡大し、新たな収益源を構築する。

● 注力する領域

✓当社が取り組むべき4つ社会課題（地球環境との共生、革新的テクノロジー、強靭性・回復力、包摂的社会）の中で注力する領域を定め、新規ビジネスを創造する。

4つの社会課題	注力する領域
地球環境との共生	気候変動・脱炭素、農業、生物多様性
革新的テクノロジー	AI・IoT、ロボティクス、MaaS・CASE（含む自動運転、空飛ぶ車）、スマートシティ、サイバー、宇宙開発、デジタルマーケット
強靭性・回復力	防災・減災、老朽化した工場・設備や社会インフラへの対応
包摂的社会	ヘルスケア（含む先進医療）、少子高齢化、人口減少、地方創生

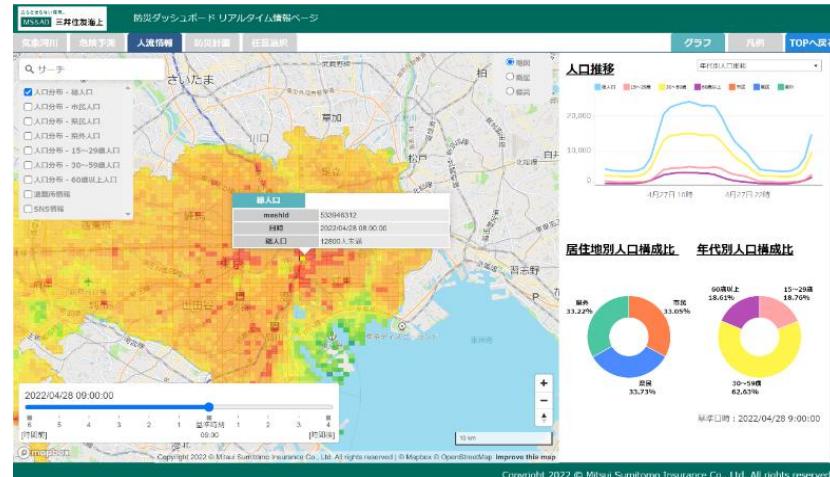
ドラレコを活用した社会インフラメンテナンス支援



新たな防災減災支援サービス

- ・災害リスクのリアルタイム可視化
- ・発災後の被害推定
- ・事前災害予測

ダッシュボード上に可視化することで、住民の生命や財産を守る防災減災アクションを支援



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上